

◆暮らしサポート サポート・ワン◆訪問介護
 ナイス・ケア◆通所介護ナイス・デイ◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介
 つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら◆鍼灸てのひら治療院



vol. 248通信
 R3年4月7日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
 愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
 代表TEL：(0567) 26-3921
 FAX：(0567) 26-3922
 ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

問合わせ・見学 大歓迎！！

《利用状況案内板 (☆募集中★満員)》

☆ナイス・ケア
 ☆ナイス・デイ (定員 10名)

月	火	水	木	金	土
9	9	6	7	8	7

☆ナイス・ホーム (定員 17名、現在登録者 12名)
 ☆愛宕の家 (定員 17名中入居者 12名)
 ☆つしま紹介所 (有料職業紹介)

登録家政婦さん、介護スタッフさんも大募集♪

《4月行事予定》

4月上旬 桜花見

※新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、密になる行事は自粛しています。今後の行事予定も状況に合わせて変更する可能性があります。ご了承下さい。

《営業に関するお知らせ》

・打太鼓 → 休止中
 ・コーラス → 休止中
 ・ナイス・キッズ (学童保育・託児) → 令和3年度: 受入れ休止
 ・鍼灸てのひら → 対象者を利用者さん・職員に限定し営業中
 ・喫茶てのひら → 時短営業 (9:00-12:30)
 詳細はお問い合わせ下さい。



よろしくお願いします/ナイス・ケア

訪問介護スタッフの仲間入りをして半年程が経ちました。それまでは、事務スタッフとして各事業所の請求業務などが主な仕事でした。日々、日報や報告書などから、利用者さん一人一人の姿を“想像”で感じていたのですが、ヘルパーとして訪問し、直接関わりを持つことになり、想像ではない“その人”を感じる事が出来るようになりました。

訪問時、生い立ちや現在の困りごとなど、利用者さんやご家族からお話を伺う事もたくさんあります。そんな中感じた事は、これまでの長い人生の中で、それぞれに培って来たと価値観があるのだという事です。

改めて「ヘルパーとしてその人らしい暮らしを支えられるよう、必要とされる関わりが出来るようになりたい。」と感じ、日々奮闘中です。(M・F)

代表退任の挨拶/株式会社サポート・ワン・サービス

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は先々代の家政婦紹介所から始まり、病人の付き添いや家事手伝い等の社会的ニーズの中で営業を続け、近年は、各種介護保険事業等にも取り組んで参りました。

ここまで続けてこられたのはひとえに皆様のお力添えによるものと感謝致しております。幸いにも、娘が後継者として前向きな気持ちで引き継いでくれることになりました。

今までと同様、皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

まずは略儀ながら退任の挨拶とさせていただきます。

令和3年4月吉日
 会長 飯尾 淑子

代表就任の挨拶/株式会社サポート・ワン・サービス

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます

この度、令和3年4月1日付けで代表取締役社長に就任致しました。高校卒業と同時に家業である家政婦紹介所の仕事に就き四半世紀以上が経ちました。当初より、前代表と共に“困ったときこそ、お手伝い！”という想いで邁進してきました。

介護保険サービスが主流となった現在もその想いは変わりません。

また、多様な社会状況の中で、子育て中や定年後の“就労の場作り”も含め、現代社会と共に成長していきたいと考えています。

前代表は会長職として、まだまだ若輩者の私を育て上げるために尽力を注いでくれます。もとより微力ではございますが、今後、より一層の努力を傾け、皆様に信頼される法人、地域に必要とされる法人を目指して全力を尽くす所存です。

前任者同様、何とぞ、格別のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。まずは略儀ながら就任の挨拶を申し上げます。

令和3年4月吉日
 代表取締役社長 飯尾敦子

ペースを合わせて/ナイス・ホーム

通い利用日の朝、『〇〇時に迎えに行きます。』とあるお宅に電話しました。電話の相手は奥さん。「あっ、いつもより早いわね。今日に限ってゆっくり寝ていたから(ご主人が)起こすのが遅くなっちゃって…。今から朝食をとるところなの。すぐに準備するわね。」と言われました。

利用者さんのお宅にお迎えに行く時間は大体決まっていますが、その日、私は、「今日の迎えの時間、いつもより、早くないかな？」とフツと頭をよぎりました。「やっぱりそうか。ああ失敗した。せめて前日に連絡をいれて準備をもらえるように配慮すべきだった。」と反省。朝、慌てさせてしまった、ご本人と奥さんに申し訳ない。

要介護状態の方は、何らかの日常生活に支障があり、援助を必要としてみえる状態の方です。手足が動きにくかったり、物事の理解が難しい場面があったりと、準備というものにも時間がかかるという事は、介護職として十分に認識しているはずだったのに、今回、全く配慮が足りませんでした。

以前、あるお宅でしみじみ言われたことがあります。「息子に病院に連れて行ってもらう日は、朝5時に起きなきゃいけないから大変なの。体は思うように動かないし、支度に時間がかかるのよ。焦ってケガでもしたら大変だね。」と。

あるお宅では、息子さんがご本人の支度をする姿をじっと見守り、気長にペースに合わせてみえる姿を見かけました。ご自分で頑張ってる支度をしていられるお父さんをじっと見守ってみえるのです。「自分も歳とったらこうなるから。順番だから…」と。

人と人との関わりで成り立つ介護です。相手のペースに合わせる事も大事な関わりの一つ。送迎の時間一つ、服を着る動作一つ、食事の時間一つ。関わる全てにおいて、ペースを合わせていけるといいなと感じています。(H・O)

介護保険法制度の改正について/S・O・S

令和3年4月介護保険法の改正がありました。今回は基本単価より、加算の見直しが多く、また、デイサービスの入浴加算は「自宅で入浴できるような関わりのため」の加算設定と打ち出され、それは強い印象となり、国の方針が、再び、明確に在宅へ移行しているように読み取れます。

介護保険は2000年の施行以来、3年毎に見直し改正が行われ、より実情に即した内容、かつ、利用者にとって有益なサービスが受けられるよう、走りながら見直す制度です。

しかし、少子高齢化の進む現在、今後は介護保険財政自体がひっ迫し、制度破たんにならぬよう、考え方も見直す時代に入ったように感じます。

その人らしい生活を送るために介護保険外(自費)サービスを併用する【混合介護】や、自らの困難な問題はまずは自身で解決を図る【自助】、地域等で支えあう【共助】、そして公的制度を活用する【公助】等、【地域で支える地域包括ケアシステム】を具現化しようと変化しています。

“困ったときにこそ助け合える関係作り”を今から地域で始める必要があるようです。(A・I)

春は桜。飲食しなければ…屋外だから…距離を保てば…と感染対策を工夫しながら、桜の花見に思い切って出かけました。



思わず手を伸ばす！いつもより、ピン！と伸びます。

通りがかりの方との挨拶も社会との関わり♪

《編集後記》

寒暖差疲労という言葉聞いたことはありませんか？寒暖差が大きい事により自律神経が乱れて疲れてしまうことだそうです。肩こりや頭痛、イライラなどの症状が主にあるそうで、予防はバランスの取れた食事や睡眠、お風呂にゆっくり浸かるなど。ちょっと気にしてみるといいかもしれません。(Y・O)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。

4月の発送部数 91部